

～相馬流れ山踊り～

中学部では、地域に古くから伝承されている民族芸能について知り、踊りの技術を学んだり、郷土の伝統文化を大切にする気持ちを高めたりすることを目的として、保健体育の授業で「相馬流れ山踊り」に取り組んできました。

○「相馬流れ山」とは

流れ山は、国の重要無形民俗文化財に指定されている「相馬野馬追」でうたわれる祭りの唄で、相馬中村藩の国歌・軍歌とも言われています。

○「相馬流れ山踊り」

踊りは4種類の構成になっており、すべて馬に関する動作となっています。

相馬中村藩の紋所「九躍の星」をつけた衣装・陣笠・陣羽織で踊ります。

10月初旬には「相馬流れ山踊り」の講師の和泉先生をお招きし、「相馬流れ山踊り」の基本の動きや振り付けについてご指導いただきました。普段はあまりすることがない身体の動かし方に慣れようと、生徒たちは細かく振り付けを確認しながら練習を重ねました。



10月22日（土）の咲笑祭ステージ発表では、これまでの学習を活かして「相馬流れ山踊り」を披露しました。生徒たちは緊張していましたが、これまで学んだことを十分発揮して発表することができました。



相双地域の伝統文化である「相馬流れ山踊り」を通して、生徒たちは貴重な体験をすることができました。地域の伝統や文化に対する生徒たちの関心も高まっています。「相馬流れ山踊り」の学習はこれからも続けていきたいと思えます。そして、地域の方々に「相馬流れ山踊り」を披露する場を設けることができれば良いと考えています。